

地質協・建コン協合同親睦釣り大会に参加して

鯛アイ・エヌ・エー氏家資康

平成10年10月10日午前6時に、宮城県七ヶ浜の船宿・やまさ丸に協会員の船釣り愛好者30名の嬉しそうな顔が集合。幹事役より割当てられた釣船に分乗し出航。

我々の乗船・大徳丸には、国際航業佐藤さん、サンコーコンサルタント篠田さん、双葉建設伊藤さん、長大荒木さん他の10名で出航。船内では各自、自慢の秘訣、試作を準備し、水飛沫を受けながら、30分後に本日の釣場大根に到着。

船頭の合図で第1投目の投入。私は15年ぶりの船釣りとは慣れないため、周囲の方々がアイナメを釣り上げるのに、私の竿には一向にアタリがこない焦る気持ちを押さえながら、竿先を眺めていると初めてアタリがあり、待望のアイナメ(約15cm)が口ではなく、顎に針掛り、イソメが長く大きめかと反省。釣針を交換し2匹目は今度は口に針掛り、5匹目の時は竿に強い手応えがあり、リールを慎重に巻くが、竿が海面に引き込まれそうになる。

何が釣れたか、ハリスが切れないか、心配と期待で足が震えながらも、リールを巻き上げ、船釣で初めての大物アイナメ(29cm)を釣り上げた時は、嬉しくて、万歳と叫びたい気持ちでした。

同乗の皆様のお世話で、1時の竿納まで、アイ

ナメ10匹、カレイ1匹総重量が1.45kgにて、全然予想もしなかった優勝賞品まで頂き、心より感謝の気持ちで一杯でした。夕食の膳はアイナメの刺身、煮魚、炊物と魚尽くしが並び、妻と2人の楽しい食事でした。

本日お世話になった会員各位に来年6月頃、クロダイ釣りに御案内したいと思います。

私の住いは宮城県山元町笠野、自宅より海岸まで約1km、海岸にはテトラポットが南北5kmに渡り入りしており、そのテトラポットの上から波際を狙うもので、笠野海岸一帯がクロダイの乗っ込み場と言っても過言ではありません。乗っ込みのクロダイは40cm級が多く重量感タップリです。

針掛かりすれば沖に向かって、波間を引っ張り回し、釣糸を鳴らすクロダイ独特な引き、加えてクロダイを釣り上げたという満足感、それに精悍な顔付きと、いぶし銀に輝く魚体の魅力がたまたまなく釣人を引き付けるのです。又この時季はクロダイの他にフッコ、石モチも釣れる海岸であり、又笠野海岸には数年前より宮城県仙台土木事務所が計画施工しているヘッドランドが完成すれば、宮城県内でも有名なクロダイ釣場になる事を願いつつペンを止めます。

